



オンデマンド Eラーニング

オンデマンドEラーニング一覧

ISO 9001:2015 規格解釈Eラーニング ISO 14001:2026 規格解釈Eラーニング ISO/IEC 27001:2022 規格解釈Eラーニング ～経営層向けEラーニング～ 情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) を推進するリーダーシップ				
概要	ISO 9001:2015 品質マネジメントシステムへの理解を深めるとともに、品質マネジメントシステムの採用によって得られる「コンプライアンスを遵守した製品・サービスの提供」「顧客満足度の向上」「リスク及び機会への対応」「要求事項への適合の実証」といった便益を理解し、組織全体のパフォーマンス向上と持続可能な発展につなげるための基礎を習得いただけます。	ISO 14001:2026 環境マネジメントシステムへの理解を深めるとともに、環境保護と社会経済的ニーズの両立を図りながら、環境マネジメントの仕組みを構築し、意図した成果の達成と組織の持続可能な発展を支援するための規格要求事項について学習します。ISO 14001導入の主な便益である「環境パフォーマンスの向上」「順守義務の遵守」「環境目標の達成」を実現するための実践的な知識を習得します。	ISO/IEC 27001:2022の各要求事項について、「なぜその要求があるのか」「何を意図しているのか」を理解しながら、情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）の考え方を体系的に学習します。また、ISMSの導入・運用によって得られる「情報資産の機密性・完全性・可用性の確保」「情報セキュリティリスクへの適切な対応」「法令・規制要求事項への適合」「継続的改善による組織の信頼性向上」といった便益を理解し、規格を実務で活用するための基礎知識を習得いただけます。	ISO/IEC 27001への適合を単なる規程や管理策の整備として捉えるのではなく、組織の目的や事業リスクと結びつけてISMSを推進するために、トップマネジメントが果たすべき役割を理解することを目指します。受講を通じて、情報セキュリティを経営課題として捉える必要性、ISMSによって情報セキュリティを体系的に管理する意義、事業目標と整合した情報セキュリティリスクへの対応ならびに、方針、責任、資源および意思決定におけるトップマネジメントの役割・ISMSの有効性を維持・向上するための継続的改善の重要性への理解を深めます。
対象者	ISO 9001を運用している組織の責任者、管理職の方、運用担当者などすべての関係者	ISO 14001を運用している組織の責任者、管理職の方、運用担当者などすべての関係者	ISO/IEC 27001を運用する組織の責任者、管理職の方、運用担当者などすべての関係者	ISO/IEC 27001におけるトップマネジメントの役割と責任について理解したい方
所要時間	約3時間	約3時間	約3時間	約1.5時間
教材	◎	◎	◎	◎
受講証明書	◎	◎	◎	◎
視聴期間	初回アクセス日より30日			
価格（税込み）	19,800円	19,800円	19,800円	16,500円

オンデマンドEラーニング一覧

 クリックして 詳細を確認	サイバーセキュリティEラーニング ～CRA、RE指令、機械規則の 最新動向と実務対応に向けて～	機械規則セキュリティ規格 prEN50742の 概要解説Eラーニング	産業機械・装置内部における 防爆対応Eラーニング
概要	このEラーニングでは、2026年5月に開催したフォーラムでの講演に基づきCRAを中心に、RE指令や機械規則の最新動向に加え、上市に必要な具体的な対応をわかりやすく解説します。また、規制ごとに異なる要件の整理や、実務で抑えるべきポイントなど、製品開発から市場投入までの流れを踏まえた実践的な情報を提供します。	2025年12月5日に発行されたドラフト版のprEN50742は機械規則における新しいセキュリティ要求への対応指針となる重要な規格であり、機械規則の整合規格となる予定です。ビジネスを停滞させないためにも新しいセキュリティ要求に関する迅速な対応が必須です。 このEラーニングでは、今この時期に必要なprEN50742について、実務への影響も含めてわかりやすく解説します。	業機械・装置に関わる防爆対応の案件が急増する一方、「装置全体としてどう適合させるか」という実務ノウハウは、なかなか得られません。欧州ATEX・米州HazLoc対応を検討する産業機械・装置メーカー向けに特化した、オンデマンドEラーニングです。 豊富な認証現場経験を持つエンジニアが、実務のポイントをわかりやすく解説します。すでに海外出荷の経験をお持ちの方、今後海外展開を考えている方々にもお役に立つ内容です。
内容	- サイバーセキュリティ規制の歴史と各国の動向 & CRA (サイバーレジリエンス法)要件 - 無線機器・IoT製品のサイバーセキュリティのこれまでとこれから - 機械規則でのサイバーセキュリティ要求への対応と整合規格候補prEN50742 - CRA (サイバーレジリエンス法)における Module Aによる技術適合 など	- 機械規則での変更点 - Approach A、Bとは - SRSLの定義とその決定方法 (脅威アセスメント) - 脅威アセスメントの実例	- 導入と適用範囲 - リスクアセスメントと危険箇所分類 - 換気評価による危険箇所の低減 - 防爆機器の選定・保護構造・マーキング - 爆発影響の低減と機能安全 - ATEX／IECExと関連指令・適合性評価
所要時間	約3時間	約2時間	約3時間
教材	◎	◎	◎
受講証明書	×	×	×
視聴期間	初回アクセス日より30日		
価格 (税込み)	8,800円	5,500円	5,500円

オンデマンドトレーニングのメリット

いつでも、繰り返し、無駄なく学べる研修スタイル

30日間、何度でも視聴可能

初回アクセス日より30日間、復習や見直しに活用できます。

教材付きで学びを定着

視聴後の振り返りや社内共有にも使いやすい教材付き。

場所や時間を選ばない

業務の合間や自宅からでも、自分のペースで受講できます。

移動不要でエコ

会場移動がないため、時間・交通コスト・環境負荷を抑えます。



ac-info@jpn.tuv.com

複数名受講・受講方法など、
オンデマンドトレーニングに関するご質問等はお気軽にお問い合わせください。

